

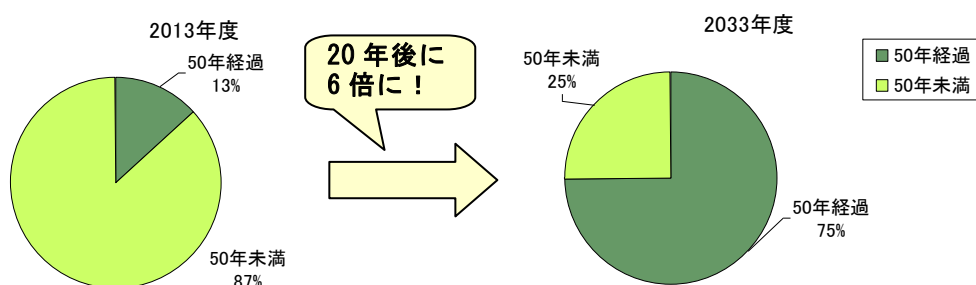
南部町 橋梁長寿命化修繕計画

南部町が管理する橋梁のうち、57 橋について
維持管理計画の策定を行いました。

■背景・目的

☆管理橋梁の高齢化が今後急速にすすむことが予測されます。

- ・管理橋梁のうち、主要な橋梁の架設年別橋梁数を見ると、高度経済成長期に集中して建設されたため、2010 年頃から、建設後 50 年以上の高齢化橋梁が急増し、20 年後の 2033 年度には全体の約 75%にもなります。これら高齢化橋梁の劣化・維持管理費の増大が懸念されます。

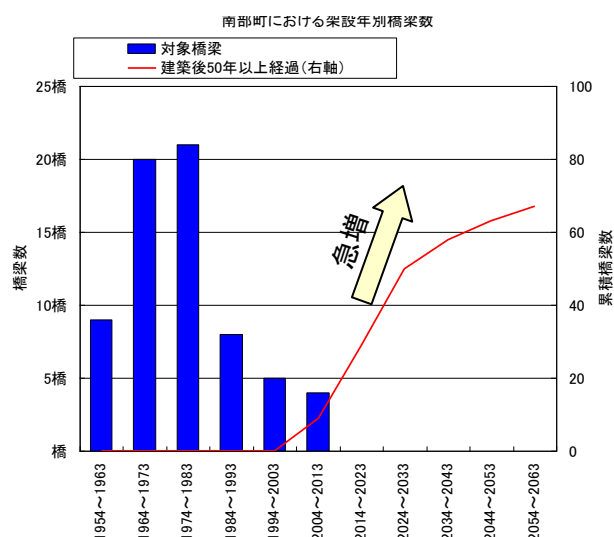


☆長寿命化修繕計画は、以下を目的とします。

- ・「事後保全型」※1 から、「予防保全型」※2 への転換
- ・橋梁の管理方針を明確化
- ・町民へ提供するサービスレベルの保全
- ・コスト縮減と安全性・信頼性向上の両立
- ・既設橋梁の状態の把握・公表

※1 損傷が顕在化してから対策を行う管理

※2 適切な時期に修繕を行い橋梁を長持ちさせる管理



■長寿命化のための取り組み方針

☆南部町では、2010 年度から点検を実施し、91 橋(総延長の 78%)が終了しました。

- ・「橋梁定期点検要領(案) 南部町役場建設課」に基づき、定期点検を継続的に行っています。

☆優先順位付けをし、メリハリのある修繕計画を策定しました。

- ・点検結果、損傷が著しい橋梁を優先的に対策します。また、橋梁毎の重要性を評価・数値化し、数値の高い順に補修を実施します。

橋梁点検風景



徒歩による点検写真



学識経験者との現地踏査

橋梁点検で確認された損傷



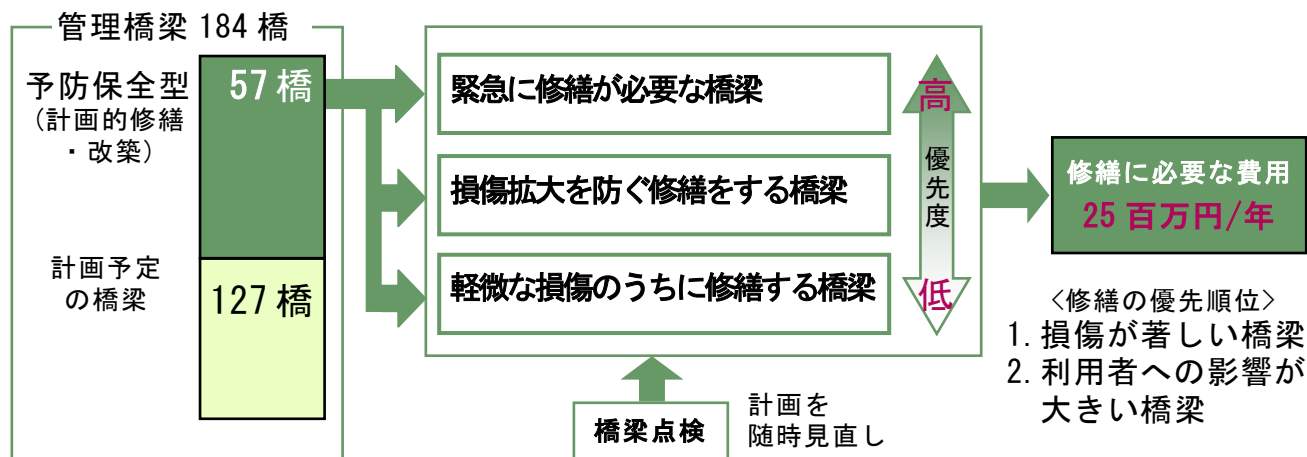
床版の亀裂



床版の抜け落ち

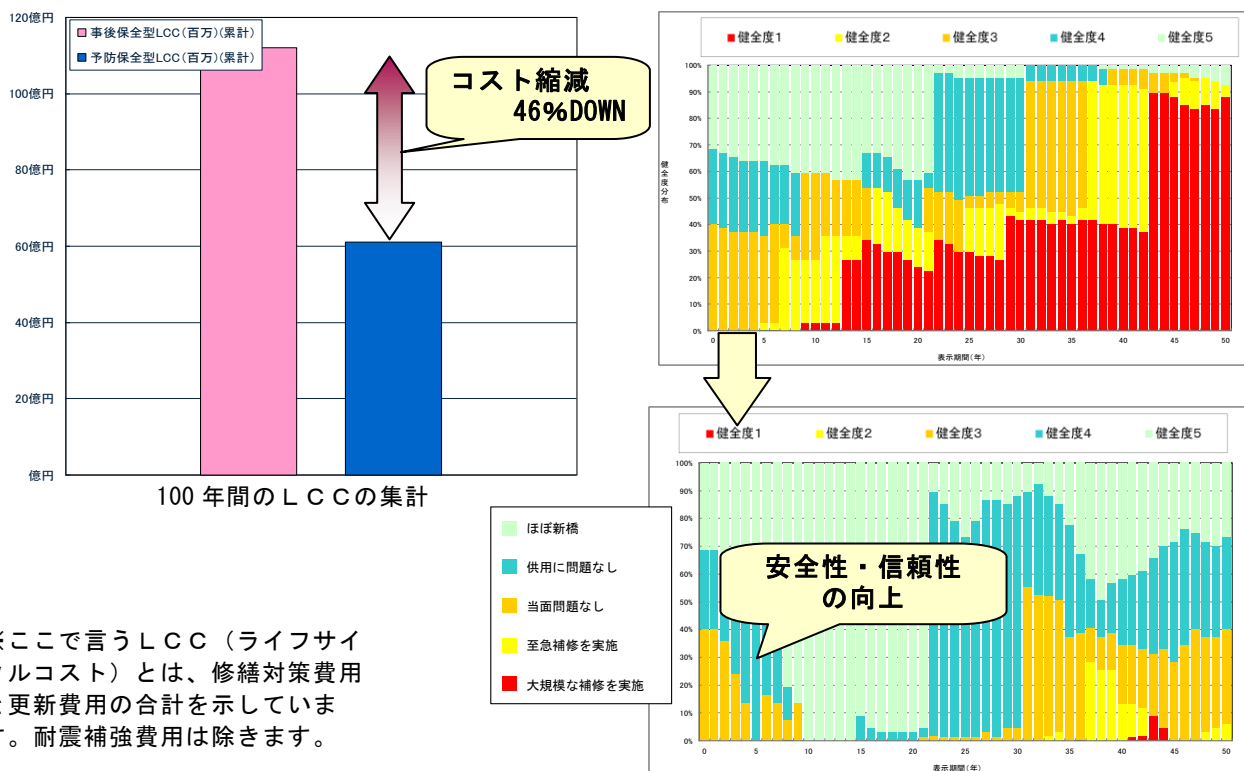
■修繕計画の内容

☆南部町において、主要な 57 橋（管理橋梁延長の 69%）について修繕計画を策定し、適切な「修繕方法・時期・費用」を検討しました。
今後、継続して点検を行なった結果を分析し、計画に随時反映します。



■長寿命化修繕計画の効果

☆予防的な修繕を実施することでコストの縮減を図ることができます。
☆損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保されます。



※ここで言うLCC（ライフサイクルコスト）とは、修繕対策費用と更新費用の合計を示しています。耐震補強費用は除きます。

■意見聴取した学識経験者

☆この計画は、橋梁マネジメントを専門とされる
国立大学法人 山梨大学工学部：檜貝 勇 名誉教授
に助言を頂いております。